



特定非営利活動法人キドックス 年次報告書2018

犬と共に踏み出す一歩

KIDOGS





キドックスの目指す社会

子ども・若者が自ら学び考えて行動し、
主体的に自分の人生を生きることができる、
犬が犬らしく人間社会の中で生きることができる、
“人がその人らしく”
“犬がその仔らしく”
心身豊かに生きられる社会を目指します。



キドックスの社会での役割

“若者が社会で自立するための基礎力を身につける教育機会”
“犬が人の社会で幸せに暮らすための教育機会”
の2つを同時につくることで、
双方に価値のある「ドッグ・プログラム」
を提供します。



2018年度を振り返って 代表理事 上山琴美

いつも当会の活動を応援いただきありがとうございます。

2018年度は、4月から「キドックスシェルター」と「保護犬と出会えるカフェキドックスカフェ」を開店し、土浦とつくばの2拠点事業所として運営が始まりました。若者支援と動物福祉の事業はもちろんです。保護犬と出会えるカフェも全国的にみて珍しい事業であるため、私たちも前例にない

ことを1つ1つ課題を職員間で解決しながら1年間、皆様の支えもありどうにか歩み続けることができました。

カフェの開店により、これまで支援が届いていなかった若者や卒業生などが気軽にお茶を飲み遊びに来てくれるようになり、カフェで働いた若者も一般就労が決まり、保護犬も前年より倍のペースで譲渡が決まり・・・と走り出しとしては好調に1年を終えることができました。

そして、カフェにて温かいお声かけをしてくださったり、ご寄付をお持ちくださったりと、いつも対面ではなかなかお会いできない方ともご挨拶しじっくりお話をできたことも、温かい繋がりを感じて大変嬉しく感じております。

2019年度はさらにこの体制を充実させるべく、若者たちが働きやすい環境作りと茨城の中型雑種犬の魅力を最大限にお伝えするシステム作りを行います。

若者・保護犬の双方が、一歩踏み出し、「人がその人らしく」「犬がその仔らしく」成長していけるように、2019年度も引き続き邁進していきます。

今後ともキドックスをどうぞよろしく願いいたします。





Contents

P6-7	若者自立支援ドッグプログラム事業
P8	子ども・飼い主・市民教育啓発事業 ドッグプログラム啓発事業
p9-13	昨年度の振り返りと今後の目標
P14	実績一覧
P15	ご寄付者様
P16	団体概要・沿革
P17-18	会計報告
P19	ご支援のお願い





若者自立支援ドッグプログラム事業

自立を目指す若者と保護犬が 社会へ再出発できることを目指して

社会での居場所が見つからずに自立に悩む若者達が日本には70万人ほどいるといわれています。一方で、飼い主に捨てられて殺処分されてしまうペットは4万頭ほどいます。私たちは双方が共に助け合い一歩踏み出すための機会を提供し、若者の社会での自立と保護犬の里親家庭への譲渡を目指しています。



2018年度概要

若者編

- ・2017年8月1日より開始した障害福祉サービス（就労移行支援、就労継続支援B型）により、当初利用促進を目指していた貧困家庭（生活保護等）や家庭内虐待を受けていた若者、他の福祉事業所や病院からの相談案件等に対応できるようになり、より本サービスを必要としている方々へアプローチができるような運営体制・諸機関との連携体制ができてきました。
- ・さらにサービスが行き届いていない層（引きこもり状態で情報が届きにくい家庭等）へアプローチするため、地域での広報活動に注力しました。
- ・若者の就労へのステップ作りのため、2018年4月より保護犬と出会うカフェ「キドックスカフェ」を立ち上げました（2018年度JT NPO助成事業による助成）。



保護犬編

- ・2018年4月より、ドッグシェルターの開設と、保護犬と出会うカフェ「キドックスカフェ」の2事業を立ち上げました（カフェの立ち上げは2018年度JT NPO助成事業による助成）。
- ・カフェの開設により譲渡数が増え、茨城県動物指導センターより引き出しを増やすことができました。また、引き出し～ケア・トレーニング～カフェデビュー～譲渡～里親様フォローまでの一連の流れのシステムを明確化することができました。



日常のプログラム以外にも、 様々な取り組みに挑戦しました！


- ・交流イベント「おもてなし会」
芋煮会、毎年恒例の筑波山登り
など楽しい交流イベントを行いました。
- ・犬の譲渡会の実施
- ・チャリティグッズの製作、販売
若者が製作した商品をカフェやイベントにて販売しました。






若者自立支援ドッグプログラム事業


2018年度実績

 2018年度に実施した活動とその実施回数、利用者数の合計です。
※利用者数は延べ人数です。



活動カテゴリ	実施回数 (回)	利用者合計 (延人数・頭数)
自立支援いぬのいえ	103	92
新規利用説明会	随時	42
1日体験	随時	46
お手紙会員	5	246
交流イベント	2	45
面会相談・保護者相談	随時	23
就労移行支援事業	246	1293
就労継続支援B型事業	245	5

 2018年度の「いぬのいえ」の利用者数と犬の頭数です。

 2013年5月1日～2019年3月31日までの約6年間の集計です。

2018年度(2018/4/1-2019/3/31)		
人	総利用者数	76
	定期通所利用者数	22
	延利用者数(定期利用者のみ)	1364
	進路決定者数	3
	進路決定率(%)	14%
犬	総保護数	16
	総譲渡数	9

開始時(2013/5/1)から現在(2019/3/31)まで (一般向けプログラムのみ集計)		
人	総利用者数	183
	定期利用者数	42
	延利用者数	3737
	進路決定者数	15
	進路決定率(%)	36%
犬	総保護数	35
	総譲渡数	26

※年度別集計のため、プログラム成果にタイムラグが生じるため
(例えばプログラム参加した翌年に就労決定等)過去の年度も含めた集計を掲載しています。

2019年度目標

プログラムの質と成果の向上 若者編

- ・指定障害福祉サービス(就労移行支援、就労継続支援B型)の支援・作業内容を改善する
- ・若者たちがキドックスカフェでも働ける体制を整える
- ・情報が行き届きにくい層に対してのアウトリーチに力を入れる

プログラムの質と成果の向上 保護犬編

- ・保護犬のトレーニング内容の質を上げる
- ・譲渡促進(広報方法の検討、カフェでの里親募集)
- ・茨城県動物指導センターや民間保護団体との連携強化





子ども・飼い主・市民教育啓発事業 ドッグプログラム啓発事業

次世代を担う子どもたちや一般市民の方々に
適切な知識を身につけ正しい行動の選択をしてもらうため

犬との暮らし方やペットについての正しい知識や動物を取り囲む社会問題について啓発し、一人一人が適切な行動を選択してもらえるように活動をしています。また、私たち自身も継続して事業を行い成果を出していける組織基盤作りと、ドッグプログラムが様々な地域でも適切に運営されるようにドッグプログラムの基礎や考え方をお伝えしています。

2018年度概要



キドックスカフェ

・保護犬とのふれあいを通じて犬との正しいかわり方、飼い方、保護犬を飼うという選択について等の教育啓発を行いました。



動物介在活動

・県内の3中学校にて「命の授業」を実施。子供たちに命の大切や動物とのコミュニケーションについてじっくり考えてもらう機会を提供しました。



ドッグプログラム講演会

・高校生や大学生、動物ボランティア、市町村関係者の方々など多様な方を対象に、当会の活動内容やドッグプログラムについての説明を実施しました。

※講演会以外にも、本年度は視察や取材など様々なご依頼をいただきました！

2018年度実績

活動カテゴリ	実施回数 (回)	利用者合計 (延人数・頭数)
キドックスカフェでの啓発・教育	131	1182
動物介在活動	3	343
ドッグプログラム講演会	10	307
取材・見学対応	見学ツアー毎月1回 /その他、毎月随時	164
啓発イベント/交流会等	2	不特定多数
ボランティア参加	随時	152



人材育成・研修

・職員やボランティア向けの研修プログラムを作成しました（2018年度ドコモ市民活動団体助成事業による助成）。

2019年度目標



職員の現場指導力を上げるための研修の実施
2018年度に作成した研修プログラムの実施



自然体験や動物愛護の道德教育プログラム、外部向けの人材研修プログラムの内容充実





プログラムへ参加した若者による作文

2018年度の振り返りと今後の目標

プログラムへ参加した若者の中から数名をお願いをして、
昨年度の振り返りと今後の目標を書いてもらいました。

「キドックス以外の場でも人と接することに慣れてきた」 Sちゃん

キドックスに通う方や来客、体験の人が来たりと人と接する機会が増えています。以前は、キドックス内では初対面の方とも話すことはできて、キドックス以外の他の場では初対面の方とは全くと言っていいほど言葉を交わすことが出来ず、表情も固まってしまい無表情でいる事も多かったのですが、少しずつ初対面でも言葉を交わしたり、表情を変えたりなどが出来るようになってきました。心なしか人に慣れていく時間も早くなった気がします。同時に少し無理をして体調を崩してしまうこともありました。今の自分の状態をしっかり理解して無理のないように頑張りたいです。

「体調の安定に向けて様々な試みを開始」 Aさん

2018年は体調を安定させることを目標とし、改善に向けて色々試してみました。まずはスタッフさんからWRAPというものを教わりました。自身の体調がどういった状況で変化するのか、また変化した際にどういう対処をとると体調が良くなるのかなど自身のことを把握するというものです。その他にもマインドフルネスという瞑想も教わり、軽いストレッチと組み合わせて毎日取り組みました。それに加えて生活活動記録というものもつけ始めました。起床・就寝時間やネットをどれだけ長く使用しているか、気分の変化など、それらによって体調がどう変化したかを記録しています。日々の記録を見て生活習慣を少しずつ変えていくと、体調もだんだんと安定していきました。無事目標達成！と言いたいのですが、減薬を始めるとまた体調が振り出しに戻ってしまうことがありました。せっかくの頑張りが無駄になってしまうことが悲しいので、次の目標は減薬を進めつつ体調を安定させることを目指したいと思います。そして安定したらまた就職に向けての練習を再開できたらと考えています。



犬と共に踏み出す一歩

KIDOGS

プログラムへ参加した若者による作文

「悩みからくるストレスへの対応が今後の課題」 Sさん

昨年度、私は、キドックスカフェでバックヤードでの業務をすることに挑戦しました。初めのうちは緊張や不安もありましたが、何とか一日キドックスカフェでの業務を終えることが出来ました。しかし、キドックスカフェでの業務では、職員の方から社会人と同じようにしっかり指導されます。度々、業務の中で、職員の方から指摘を受けることがありました。指摘されることが苦手な私は、指摘を受けるたびに恐怖や不安を感じてしまいます。しばらく耐えていたのですが、恐怖と不安からくる精神的な負荷が次第に積み重なり、ある日限界が来てしまいました。うまくストレスを処理することができていなかったようです。

元々、物事に対して悩みすぎる傾向にある私は、悩むことでストレスを増加させているときが多くあります。考えなければいい、気にしなければいいとは思ってはいるものの、気がついたら悩み事に対して考えています。悩めば悩むほど、解決しない悩みに対するストレスが大きくなり、心を蝕みます。うまくストレスを処理できれば良いのですが、上手くストレスを処理させる方法が身につけていないのが現状です。

去年もストレスをうまく処理することを目標に掲げていましたが、目標を達成することはできませんでした。私にとってストレスと上手く付き合うことはとても大きな課題のようです。今年度もストレスに対してどう向き合っていくかを模索しながら前に進めるように努力していきたいです。

「活動日数を増やしていきたい」 Hさん

歯科医院の清掃のパートの試用期間で働いていた際にうつ病とパニック障害を患ってしまい、不安な気持ちで過ごしていました。

かかりつけの病院でキドックスのパンフレットを見て、犬たちの元気になるお手伝いをしながら自分も元気になれるのならと思い、通い始めました。

始めは自信はありませんでしたが、通っているうちに犬にもだいぶ慣れ、自信が持てるようになりました。

2019年度の目標は、通える日数を増やして週5通えるようになることが目標です

「自信をもって活動できるようになった」 Sさん

初めから、あまり積極的に活動することができずにいましたが、自分に与えられた仕事をやるにつれて少しずつですが、自分に自信を持つことが出来ました。

これからも少しずつ前に進んでいくことが出来るといいなと思います。



プログラムへ参加した若者による作文

「ありのままの自分を受け入れるために」 Uさん

去年の8月からキドックスへ通い始め、もうすぐ1年になります。ずっと人と関わることを避けてきた私にとって、外へ出て新たな方々と関係を築くことはとても大きなことでした。正直、今も人付き合いは苦手です。出来る事なら人の目に触れることなく生活を送りたいと思ったりもします。そんな卑屈に物事を考え、人の目を過剰に気にしてしまう自分を受け止めなければと思えるようになったのはキドックスで関わった方々のお陰でした。誰しも長所と短所があります。今は、短所を変えるのではなく、短所と向き合いどうしたらありのままに生きれるのかを考えていきたいです。

「自分のペースで活動でき、以前より気持ちが楽になった。」 Nさん

3月5日から自分はキドックスに入りました。以前はB型作業所にいたり、生活訓練施設に通っていました。今はキドックスと生活訓練施設を併用しながら、半日ではありますが自分なりに頑張っています。キドックスに入る前は、不安になると感情的になってしまう所がありましたが、キドックスに入ってから以前よりは気持ちが楽になりました。

「犬や人とのコミュニケーションを通して自分と向き合う」 Yさん

キドックスに通い始めて半年くらいが経ちました。元々、人との距離感を取る事が苦手で初対面の人と話す時は、相手に嫌われても仕方ないと諦めていましたが、犬や利用者さん達とコミュニケーションを取っていくうちに上手くやりとりをするような心がけを少しずつ持てるようになりました。犬とのやり取りを通して自分がやりたい事が少しずつ見えてきて、ずっとおざなりにしていた就活に対してやる気が出てきました。キドックスで得た知識を活かし、就職に繋げていきたいと思えます。



犬と共に踏み出す一歩

KIDOGS 



キドックスのスタッフによる作文

2018年度の振り返りと今後の目標

ドッグプログラムに携わるスタッフより、昨年度の振り返りと今後の目標について述べます。

「犬にとっても人にとっても良いプログラムにしたい」

2018年度は、キドックスを利用する若者が徐々に増えてくる中、若者たちをサポートする側の職員間で連携を深めて行き、プログラムをより良いものにするために試行錯誤を重ねた一年でした。

職員全員が同じ方向を見て若者たちをサポート出来るよう、全体でのミーティングや常勤職員でのミーティングを定期的に行うことにし、プログラムを振り返り改善点をまたプログラムに落とすというのを導入しました。

若者たちも少しずつ増えて来て、若者たちの犬への知識や経験値、通う頻度など人により様々になってきました。

そんな中でもキドックスでのプログラムが、犬へも人へも最大限いいものへなるよう引き続き試行錯誤を重ねていきたいです。

キドックスカフェはオープン後一年を過ぎました。

キドックスカフェをオープンする前に比べ保護犬たちの譲渡も格段に進み、カフェでの出会いで譲渡になった子が8頭になりました。カフェでのお見合いでは、何度も足を運びじっくり検討して下さる方が多く、性格や特徴なども把握した上でのトライアルスタートとなるので、とてもいいご家族へ繋がる機会がとても多く感じます。

2019年度の目標は、そんな保護犬たちの出会いの場であるキドックスカフェで働く若者を増やしていく事です。若者たちがカフェの先にある社会への一歩を踏み出せる様、まずはカフェで色んな経験を積めるようサポートを行っていきたいと思います。

プログラム統括責任者 村本 知恵里



犬と共に踏み出す一歩

KIDOGS



キドックスのスタッフによる作文

「トレーニングを行う側の若者にどう伝えるのか」

キドックスカフェによる保護犬の「見える化」によって保護犬を知ってもらい、触れ合ってもらい、興味から譲渡へ繋がることが増えてきました。それはそのまま活動の応援をしてくれる、新たに知ってくれる人たちも多くなって着ていると感じます。譲渡数が増えることは、センターから引き出せる犬の頭数が増えることにも繋がる。少しずつですが、保護から譲渡までの流れが構築されてきたと思います。

キドックスファームでも若者達の見学、体験、参加も少しずつ増えてきたと感じており、犬と人が共に成長していく為の活動をしている団体として認知されてきているのではないかと感じています。

ドッグトレーニングでは、先輩にあたる若者がトレーニングスキル以上に、犬（相手）の気持ちを感じ取る、（相手のために）自ら働きかける、喜びを共有することが出来るようになってきていることを嬉しく感じます。

個人的にはトレーニング一つ一つの質をどう上げていくのかが課題となった1年です。保護犬をトレーニングするのは若者です。彼らにどう伝えるか、どう伝わったのかがトレーニングの質にも繋がっていきます。どうやって伝えるのかは本当に難しい。僕には長く格闘するテーマです。キドックスの保護犬全体のトレーニングの質の向上を来年度の目標として活動します。

ドッグトレーナー 里見 潤

「初心を忘れず、人に犬に寄り添いながら」

2017年度の障害福祉サービスに加え、2018年4月からは保護犬シェルター、保護犬カフェを開業し、新しいチャレンジを始めたキドックス。そんな2018年度はずっと外から見ていたキドックスで職業指導員・生活支援員としては活動することを決めた、自分自身としてもチャレンジの年となりました。

今まで一般企業に勤めていた身としては、法人としての運営も、若者や保護犬たちへの支援活動も全て初めて、培った経験だけではできないことも多く、試行錯誤の毎日でした。個性豊かな若者や保護犬たちと向き合うには、知識も経験もまだまだ不足しています。

一方で、前を向き立ち上がろうと日々真剣にプログラムに取り組む若者や、新しい家庭で幸せそうに過ごす元保護犬たち、キドックスカフェのお客様を含む多くの温かい支援者と出会い係わることで、答えが一つでないこの業界においても、正しい方向性で活動できていると改めて認識をすることが出来ました。

2019年度は、活動の価値・意味を高めるためにも、プログラムの質の向上を目標に活動をします。

まずは若者に対し、犬講座や就活講座を見直し、再開しました。プログラムの意味や目的を理解した上で活動することが、若者たちだけでなく保護犬たちも含めた一歩先の未来を見据えることに繋がります。

活動を広げているキドックスですが、若者と保護犬たちが心身豊かに生きられることが活動の基本。初心を忘れず、人に犬に寄り添いながら活動を進めていきたいと思っています。

若者支援員 岡本 達也





2018年度実績一覧

■イベント型活動

2018/4/30【イベント】ソーケングループ様主催ぶらり CSR ツアー in 茨城・水戸
2018/11/23【イベント】芋煮会
2018/12/7【イベント】青少年健全育成常陸太田市民の会様見学ツアー
2018/12/28【イベント】筑波山登山
2019/1/13【イベント】クリステル財団様主催「フォスター・アカデミー」
2019/3/17【イベント】クリステル財団様主催「フォスター・アカデミー」
2019/3/31【イベント】第1回しっぽゆめマルシェにて譲渡会

■講演活動

2018/11/22【講演会】茨城県立土浦第一高等学校様
2018/11/25【講演会】茨城の大学・専門学校学生達の夢実現プログラム研修
2019/1/23【講演会】横浜国立大学「人と動物の幸せな共生を考える」
2019/2/7【講演会】守谷市動物愛護協議会主催「命の授業」守谷市立守谷中学校様
2019/2/10【講演会&献金贈呈式】東京育成園様
2019/2/15【講演会】土浦市NPOセミナー
2019/2/27【講演会】守谷市動物愛護協議会主催「命の授業」守谷市立御所ヶ丘中学校様

■助成金選出

2018/5/23【助成金】JT NPO 助成事業 2018 年度選出
2018/9/7【助成金】2018 年度ドコモ市民活動団体助成事業に選出

■メディア掲載

2018/4/17【メディア】パルシステムいぬ・ねこカタログ「Link Ring Love」
2018/5/26【メディア】茨城新聞に掲載
2018/7/17【メディア】学生団体 Apatite に掲載
2018/8/1【メディア】フリーペーパー「ペットのさと」に掲載
2018/8/30【メディア】PEPPY (ペピィ) 2018 秋冬号
2018/9/19【メディア】つくばスタイルブログ
2019/2/20【メディア】コトノネ vol.29 に掲載
2019/2/23【メディア】女性ライフスタイル情報紙 chou*chou に掲載
2019/3/1【メディア】つくばまるごとマガジン「つくまる」にキドックスカフェが掲載

■その他

2018/5/15 通常総会を行いました
2018/8/3 公益社団法人アニマル・ドネーションの認定団体に選ばれました



2018年度ご寄付者様

☆4月2日 海老原様	☆8月27日 吉澤様	☆12月28日 海老原様
☆4月2日 下條様	☆8月27日 石原様	☆1月4日 木村様
☆4月3日 藤田様	☆9月3日 海老原様	☆1月9日 柳澤様
☆4月4日 山中様	☆9月3日 大槻行男様	☆1月11日 皆川様
☆4月4日 吉澤様	☆9月7日 石原様	☆1月11日 張替様
☆4月5日 安藤様	☆9月7日 渡辺様	☆1月13日 松田様
☆4月7日 大槻様	☆9月24日 山田様	☆1月19日 大竹様
☆4月7日 岩村様	☆9月25日 古谷様、正野様	☆1月20日 三澤様
☆4月11日 飯岡様	☆9月26日 宮原様	☆1月21日
☆4月13日 細谷様	☆10月1日 大槻様	シャビージェンティール様
☆4月16日 渡辺様	☆10月3日 白井様	☆1月22日
☆4月18日 池迫様	☆10月3日 上野様	アニマル・ドネーション様
☆4月19日 市村様	☆10月24日 船崎様	☆1月27日 大竹様
☆4月20日 原田様	☆10月31日 飯岡様	☆1月30日 小仁所様
☆4月26日 西平様	☆11月1日 原田様	☆1月30日 小仁所様
☆5月1日 大槻様	☆11月2日 大槻様	☆2月12日 東京育成園様
☆5月6日 甲野様	☆11月3日 鶴田様	☆2月16日 山中様
☆5月7日 柴様	☆11月10日 飯田様	☆2月17日 山田様
☆5月15日 為我井様	☆11月13日 岩下様	☆2月17日 関根様
☆5月19日 山中様	☆11月18日 直井様	☆2月23日 関根様
☆5月20日 小澤様	☆11月18日 友部様	☆2月25日
☆5月20日 塙様	☆11月20日 古屋様	公益財団法人日本動物愛護協会様
☆5月21日 鈴木様	☆11月20日 石井様	☆2月27日 工藤様
☆5月28日	☆11月21日 平栗様	☆2月28日 大多様
(株)ソーケングループ様	☆11月23日 渡辺様	☆2月28日
☆5月31日 大槻様	☆11月23日 海老原様	アニマル・ドネーション様
☆6月5日 飯岡様	☆11月23日 山中様	☆3月4日 大塚様
☆6月8日 浅見様、市川様	☆11月23日 舟崎様	☆3月4日 海老原様
☆6月11日 山田様	☆11月25日 加藤様	☆3月6日 結城様
☆6月12日 木村様	☆11月26日 大槻様	☆3月10日 大竹様
☆6月26日 大槻様	☆11月30日 白井様	☆3月11日 小仁所様
☆7月5日 石原様	☆11月30日	☆3月11日 関根様
☆7月19日 舟崎様	アニマル・ドネーション様	☆3月13日 宮原様
☆7月23日 白井様	☆12月7日	☆3月14日 岩淵様
☆8月1日 大槻様	常陸太田市民の会様	☆3月19日 シロップ様
☆8月6日 安野様	☆12月8日 山田様	☆3月21日 山中様
☆8月7日 安野様	☆12月12日 宮原様	☆3月28日 原田様
☆8月13日 飯岡様	☆12月13日 柴様	☆3月29日 小仁所様
☆8月14日 飯岡様	☆12月13日 門田様	☆3月29日 山田様
☆8月15日 三澤様	☆12月17日 飯岡様	☆3月31日 友部様
☆8月20日 菅野様	☆12月17日 永田様	☆4月～3月
☆8月21日 斉郷様	☆12月22日 山中様	キドックスカフェに募金いただいた皆様
☆8月21日 上野様	☆12月27日	☆4月～3月
☆8月22日 宮原様	(株)ソーケングループ様	見学ツアーに参加いただいた皆様

2019年3月31日現在 ファミリー会員として継続的に毎月ご寄付くださっている皆様

☆ T.M様	☆ C.M様	☆ Y.F様	☆ M.H様
☆ Y.Y様	☆ W.K様	☆ M.E様	☆ R.W様
☆ M.K様	☆ T.Y様	☆ M.I様	
☆ Y.S様	☆ G.W様	☆ K.M様	

(※2019年3月31日以降にご寄付いただいた方は来年度の年報に掲載させていただきます)

皆様からの温かいご支援に、心より御礼申し上げます



団体概要

団体正式名：特定非営利活動法人キドックス
法人設立日（登記日）：2012年9月20日
団体設立：2011年8月
職員数：5名（2019年3月末現在）
登録ボランティア数：約5名
会員数：24名

役員

代表理事 岡本琴美（旧姓：上山）
理事 里見潤
理事 佐治莉沙子
監事 渡邊陽子

茨城県指定障害福祉サービス
 事業者指定番号：0810300673
 事業所名：多機能事業所
 キドックスファームつちうら

茨城県動物指導センター届出

第二種動物取扱業登録済
 茨城県動物指導センター譲渡団体登録済
 第一種動物取扱業の種別
 シェルター：保管（茨城県第2327号）
 カフェ：訓練（茨城県第2283号）
 展示（茨城県第2284号）



沿革

2010年12月 犬の殺処分問題や子どもを取り巻く社会問題について調査・研究を開始
 2011年8月 犬を介した子ども向けプログラムなどを様々な形式で行う
 2012年9月 NPO法人格を取得
 2013年3月 犬と若者の支援施設「キドックスファーム」を茨城県土浦市にて開所
 2013年5月 保護犬を介した青少年の自立支援プログラム開始（自立援助ホーム向け）
 2013年9月 若者就労支援プログラム開始（期間4ヶ月限定プログラム、一般向け）
 2014年1月 若者就労支援プログラム終了（期間4ヶ月限定プログラム、一般向け）
 2014年3月 保護犬を介した青少年の自立支援プログラム終了（自立援助ホーム向け）
 2014年4月 自立支援プログラム「いぬのいえ」、フリースクール「こいぬのおへや」
 保護犬カフェ「わんこみゅカフェ」開始
 2014年7月 フリースクール「こいぬのおへや」プログラム終了
 2015年12月 お手紙会員プログラムスタート
 2016年10月 中間的就労プログラム「イヌモク工房」開始、訪問プログラム開始
 2017年3月 「ゆるボラ」、ご家族への支援プログラム「クラフト」開始
 2017年8月 茨城県指定就労移行支援・就労継続支援B型事業
 「多機能事業所キドックスファームつちうら」開設
 2018年4月 コミュニティ型ドッグシェルター「キドックスシェルター」開設
 2018年4月 保護犬と出会えるカフェ「キドックスカフェ」開設
 現在も茨城県土浦市・つくば市を拠点に活動中！





2018年度会計報告

2018年度の会計全体のご報告です。

法人名:	特定非営利活動法人キドックス									
活動計算書										
2018年 4月 1日 ~ 2019年 3月 31日 まで										
(単位:円)										
科 目	金 額									
I 経常収益										
1. 受取会費										
正会員受取会費	0									
賛助会員受取会費	0	0								
2. 受取寄付金										
受取寄付金	782,528									
ファミリー会員会費	721,716	1,504,244								
3. 受取助成金等										
受取民間助成金										
JT NPO助成事業2018	1,500,000									
ドコモ市民活動団体助成事業2018	1,200,000									
受取国庫補助金	0	2,700,000								
4. 事業収益										
いぬのいえ会費	604,000									
雑収益	598,800									
イベント収益	36,342									
グッズ販売	130,654									
講演料	125,092									
訓練等給費金	11,086,848									
カフェ	2,279,451	14,861,187								
5. その他収益										
受取利息	17									
雑収益	176,383	176,400								
経常収益計										19,241,831
II 経常費用										
1. 事業費										
(1)人件費										
役員報酬	1625330									
給与手当	5572609									
法定福利費	1724467									
福利厚生費	85000									
租税公課	93122									
工賃	211150									
人件費計	9,311,678									
(2)その他経費										
諸会費	1000									
租税公課	148300									
福利厚生費	43164									
印刷製本費	99243									
水道光熱費	337388									
旅費交通費	149166									
消耗品費	1280681									
地代家賃	3040240									
通信運搬費	228187									
雑費	79117									
支払手数料	250942									
広告宣伝費	21384									
備品費	659000									
損害傷害保険費	48390									
会議費	18294									
医療費	199197									
業務委託費	80000									
生産活動原価	517692									
その他経費計	7,201,385									
事業費計										16,513,063
2. 管理費										
(1)人件費										
人件費	0									
福利厚生費	0									
人件費計	0									
(2)その他経費										
消耗品費	6670									
支払手数料	34720									
その他経費計	41,390									
管理費計										41,390
経常費用計										16,554,453
当期正味財産増減額										2,687,378
前期繰越正味財産額										1,383,645
次期繰越正味財産額										4,071,023



2018年度会計報告

法人名：特定非営利活動法人キドックス												
貸借対照表												
2019年 3月 31日現在												
(単位：円)												
科 目		金 額										
I 資産の部												
1. 流動資産												
	現金預金	4,071,023										
	流動資産合計	4,071,023										
2. 固定資産												
	固定資産合計	0										
	資産合計	4,071,023										
II 負債の部												
1. 流動負債												
	流動負債合計	0										
2. 固定負債												
	固定負債合計	0										
	負債合計	0										
III 正味財産の部												
	前期繰越正味財産	1,383,645										
	当期正味財産増減額	2,687,378										
	正味財産合計	4,071,023										
	負債及び正味財産合計	4,071,023										

法人名：特定非営利活動法人キドックス												
財産目録												
2019年 3月 31日現在												
(単位：円)												
科 目・摘 要		金 額										
I 資産の部												
1. 流動資産												
	現金預金											
	現金	185,476										
	ゆうちょ銀行	1,775,663										
	常陽銀行	2,109,884										
	流動資産合計	4,071,023										
2. 固定資産												
	固定資産合計	0										
	資産合計	4,071,023										
II 負債の部												
1. 流動負債												
	流動負債合計	0										
2. 固定負債												
	固定負債合計	0										
	負債合計	0										
	正味財産	4,071,023										

～ご支援のお願い～

キドックスの活動は、皆様の温かいご支援に支えられています。
自立に悩む若者たちや、飼い主に捨てられてしまった犬たちの双方の社会復帰のために、皆様の温かいご支援をどうぞよろしくお願いいたします。



ファミリー会員になって支援する

キドックスの若者たち・保護犬たちを、温かく見守り、身近な存在として応援してくれる、ファミリー会員の方を募集しています。お申し込みはキドックスのHPにてお手続きをお願いいたします。

3つのプランがあります



様々な会員特典があります

D	O	G	会員特典
			会員証★入会后1ヶ月以内に郵送します。イベント参加時などにご持参いただけます。
			四季報★年に4回四季報を作成しお送りします(春号、夏号、秋号、冬号を予定)
			年報★1年に1回、年間の活動報告書を作成してお送りします(毎年5～6月頃を予定)
			二口ファーム長★キドックスファームの施設内にお名前や愛犬のお名前を掲示します。
			感謝の手紙★定期的にご支援の感謝の手紙を書いてお送りします。
			おもてなし会★会員の方をおもてなしするための企画を実施します。年に数回ご案内状をお届けします。愛犬のわんちゃんも一緒に遊びにきてください♪
年1回	年2回		



寄付で支援する

寄付の方法は、銀行振込、クレジットカードの2つからお選びいただけます。銀行振込の方は、下記金融機関宛にお手続きをお願い致します。

その際は事務局 (info@kidogs.org) までご連絡をお願い致します。

クレジットカードの方は、キドックスのHPからお手続きをお願いいたします。



物で支援する

活動に使用する様々な物品の募集をしております！

募集品リストはキドックスのHPからご覧下さい → <http://kidogs.org/support/goods>

【ゆうちょ銀行からの振込先口座】

- ・銀行名 ゆうちょ銀行
- ・記号 10650
- ・口座番号 普通 41822701
- ・口座名義 特定非営利活動法人キドックス
- ・口座名義 (カタカナ) トビ) 朴ッス

【ゆうちょ銀行以外からの振込先口座】

- ・銀行名 常陽銀行
- ・支店名 新治支店
- ・店番 191
- ・口座番号 普通 1238473
- ・口座名義 特定非営利活動法人キドックス
- ・口座名義 (カタカナ) トク化イリカトウウジン朴ッス

特定非営利活動法人キドックス

〒300-4111 茨城県土浦市大畑1440

TEL: 029-846-0661

MAIL: info@kidogs.org

HP: <http://www.kidogs.org>



特定非営利活動法人キドックス

事業所兼ドッグシェルター

営業時間：月曜～金曜 9:00～18:00

住所：〒300-4111 茨城県土浦市大畑1440

TEL: 029-846-0661

MAIL: info@kidogs.org

HP: <http://www.kidogs.org>

保護犬と出会えるカフェ「キドックスカフェ」

営業時間：月曜、土曜、日曜、祝日 11:00～18:30
(L.O. 17:30)

住所：〒305-0022 茨城県つくば市吉瀬 511-5

TEL : 070-5088-6436

MAIL : info@kidogs.org

HP: <http://cafe.kidogs.org>